

諏訪小だより

令和7年3月24日
3月号特別号
多摩市立諏訪小学校
校長 斎藤 幸之介

「まだまだ変われる」－1年間を振り返って

校長 斎藤幸之介

よく「三寒四温」と申しますが、ここ1カ月は気温の変動が大きく、先日はまさかの降雪がありました。1時間で歩道が真っ白になるほどで、子供たちも驚いたり喜んだりしていました。その後気温は再度上昇し、ここ数日は20°Cを超える、との予報もあります。季節が確実に進んでいます。

本日、本校は無事に令和6年度の修了式を終えることができました。ここに至るまで、皆様には多大なるお力添えを賜りましたことに深く感謝申し上げます。

Big event とその裏にあったもの

本年度は、本校開校30周年を迎えていましたことが何よりも大きなことでした。再三申してまいりましたが、記念式典はこの中心に位置付けられたものでした。しかし、この式典は、単に一つのイベントといった色彩ができるだけもたさないようになることが重要、と考えていました。式典も本来は全校の子供たちのもの、幸いにも児童数は全員参加を叶えるにも合致していました。

さらに、各学年の発表は、「平素の学習活動に基づくもの」でした。もちろん、よりよいものをを目指したのは言うまでもありません。しかし、これも日頃の生活科・総合的な学習の時間を中心とした学習活動が充実していかなければ成し得ないことがありました。そこに向けて子供たちが日々どれだけ主体的に取り組んできたか、が問われました。

これが叶えられたということはその裏にあったもの、つまり「平素」が生きた、と自負しています。

その後、そして最後の最後まで

式典での子供たちの発表の多くは「地域」が素材となっていました。その後も、公園に出かけ、通学等の清掃を行い、と地域を舞台にした学習活動は続き、つい先日まで行われていました。

4年生は、諏訪第四公園の手すりのペンキ塗りをしました。かねてより様々に協力を得ていた多摩市環境部公園緑地課からの打診があり、この実践に繋がりました。淡いエメラルドグリーンに変わった手すりを塗り進めながら、子供たちは活動自体の楽しさと、自分たちの取組が公園をそして地

域を変えていく喜びを素直に表していました。

6年生は、地域の活性化を図るべく、マラソン大会を企画したり地域の御高齢の方々とラジオ体操をしたりしました。特に、ラジオ体操を行った際には、大変多くの方々に御参加をいただきました。体操後に行った遊びにも進んで御協力をいただきました。ある方が「以前は子供たちがこのようなことをするとは考えられなかった。今の子供たちは素晴らしい」とおっしゃっていました。教育内容も日々進化をしている、と改めて感じました。

本年ありがとうございました

以前、私が先達から「変化はゆっくりでよろしい」と言われ続けてきたことを御紹介したかと思います。例えば子供たちの成長に関しては、急速に変わることを求めてそれが叶わない場合が多いと言えましょう。一方で、前述した事例のように、子供たちが新しい活動に取り組んでいることも事実です。つまり、本校もまだまだ変われる、進化できるんだ、と捉えていくことが肝要かと思いますが、皆様はどうお考えでしょうか。また、手前味噌になって恐縮ですが、新しい活動に自ら挑戦する教職員がいたからこそ叶えられたことが多くあったことも最後にお伝えしたく思います。

いずれにしましても、こうして教育活動が充実しましたのも、保護者や御家族、そして地域の皆様の御理解と御協力があってのこと、と深く感謝を申し上げます。そして、今後共どうぞよろしくお願い申し上げます。

明日は本校第31回卒業式です。立派に育った6年生を、5年生と共に温かく送りたいと思います。

令和7年4月1日付人事異動（転出）

主任教諭 斎藤翔太（在籍6年）

新宿区立鶴巻小学校へ

令和6年度未任期終了

臨時の任用教員 高田万貴

稻城市立南山小学校へ
エデュケーションアシスタント 安藤信也

その他の転入等については来年度当初の学校によりにてお伝えをいたします。